

Library

町生涯学習センター図書室からの1月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

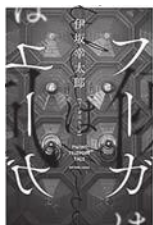
子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽に参加ください。

■日時 1月10日(木)

午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

ちょっと不思議で切ないストーリー 伊坂 幸太郎著 / 『フーガはユーガ』



実業之日本社

小説

仙台市内のファミリーレストランで、常盤優我は語りだした。双子の弟・風我のこと、決して幸せでなかった子ども時代のこと、そして、彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のことを…。描かれている不条理や悪に胸が締めつけられますが、ちょっと不思議で切ないストーリーが深い余韻をもたらしてくれるおすすめの1冊です。

極夜に行く命懸けの冒険ノンフィクション 角幡 唯介著 / 『極夜行』



文藝春秋

一般書

暗闇のなか氷床を歩き続け3カ月ぶりに太陽を見たとき、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極圏グリーンランドの北部を、1頭の犬とともに、1人命懸けで歩き続けた探検家がつづる冒険ノンフィクション。生と死の間にある壮絶な緊迫感に引き込まれる1冊。2018年「本屋大賞ノンフィクション本大賞」受賞作品です。

かこさとしさんの最後の絵本

かこさとし作 鈴木まもる絵 / 『みずとはなんじゃ?』



小峰書店

児童書

朝起きて、顔を洗う「みず」。うがいをしたり飲んだりする「みず」。花や植木の根もとに注いでやる「みず」。水は一体どんなものなのでしょうか?暮らしの中で出会う水を通して、地球の環境や命のつながり、共生の大切さを伝えています。2018年5月2日に92歳で亡くなった、絵本作家・かこさとしさんの最後の絵本です。

かご収納の素敵なアイデア満載

成美堂出版編集部編 / 『収納上手のインテリアかご』



成美堂出版

教養娯楽

インテリアアイテムとしても収納グッズとしても優秀なかごを、かご収納が素敵なお宅の実例を中心に、さまざまな角度から掘り下げて紹介しています。素材の話、かごのお手入れ方法や、センスよく収納するコツ、かご使いの部屋別のルールなど25のアイデアも収録。実用性がありながら、読み物としても楽しめる1冊です。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

ぼくが「ロビンソン・クルーソー」を読んだきっかけは、表紙に「世界一有名なサバイバル物語」と書いてあって、ぼくはサバイバルの本を読んできたからです。

この本は、ロビンソン・クルーソーがのっていた船が嵐でちんぼつして、1人だけ生きのこって、たどりついた無人島で28年間生きのびるといってお話です。

今月の案内人



柴田 涼成くん
〔糸田区〕

ぼくがこのお話を読んで心にのこった所が2つあります。1つ目は、自分1人だけが生きのこった無人島

Read This Story!

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ロビンソン・クルーソー』(ダニエル・デフォー原作)

嵐で船が難破し、無人島へ流れついたロビンソン。家も食べ物も道具もない中、たった1人、自分の知恵と工夫、不屈の勇気で生き抜いていく物語。

で、ネコやイヌといっしょにいるんなら知恵をだして28年間、よくあきらめないで生きのびたなあと思ったところ。ぼくだったらきっとあきらめていたと思います。2つ目はその無人島に男の人たちがきて、なわでしばられてころされそうな男の人たちを助けてあげたところです。ふつうの人ならこわくてたすけてあげられないじょうきょうなのに、ロビンソン・クルー

ソーはゆうきをだしてたすけてあげました。ぼくだったらたぶんむりだったと思います。

ぼくはこの本を読んで、大人になったらロビンソン・クルーソーみたいに苦しくてもあきらめず、ゆうきをだして人だすけができるような人になりたいと思いました。

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町公民館自主講座 英会話教室が閉講

町の公民館講座を長きに渡り続けてこられた「英会話教室」が12月15日(土)に閉講しました。

講師の松井美津江さんは、自主講座開講以来30年以上、多くの方々に英会話の楽し



▲英会話教室の皆さんと講師の松井先生(下段中央)

さや発音の難しさ、会話ができたとときの喜びなど丁寧に指導されてきました。今では小学校から英会話

の授業が始まり、街では多くの外国人を見かけるようになり、ますます英会話の必要性が高まっています。

松井さんから教わった方々がこれからもいろんな場所で活躍されると思います。

松井さんは今年100歳を迎えられます。長い間、本町に貢献していただきありがとうございます。

町民大学・第3回講演会

3Kで毎日ワクワク

12月17日(月)町生涯学習センターで、県教育委員会との共催講座「サテライト甲佐教室」の第3回講演会を開催しました。

「いい生きがい楽しい明日」と題し、熊本大学教育学部の吉田道雄名誉教授に講演していただきました。

人生を動かす歯車「3K(言葉・行動・心)は三位一体で、ゆっくりでもいいから動かし続けること



▲役に立つワクワクの仕方を伝授する吉田名誉教授

が大切。そのためには信頼できる人や集団、自然や動物、さまざまな文化と関わりをもつてうまく潤滑油として活用することなど、一日の生活の上で役に立つワクワクの仕方を伝授してもらいました。

これからの人生がより楽しくできると実感しました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■人権に関するDVDのご紹介

甲佐町人権教育推進協議会では、人権について理解を深めていただくために、人権啓発に関するDVDの貸し出しを行っています。現在(2018年11月)新作を含め13本を貸し出ししております。各地区・企業・個人などで、ぜひご覧ください。

●「家庭の中の人権・カラフル」 (上映時間31分)

「人権問題」というと、難解で、政治や法律や一部の組織に関わる人だけに関係があるものだと思われが

ちです。しかし、「人権」の問題は、「人間」の問題。私たち1人ひとりが生きていく日々の中に存在します。気づかずにいると、知らず知らずのうちに他者の人権を侵害してしまうこともあります。そして人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていきます。

このビデオでは、両親と人生の単立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。

貸し出しについては、甲佐町人権協議会(社会教育課内)にお問い合わせください。



▲地区や企業などでの人権教育勉強会にぜひご利用ください

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)

